

2026 年 7 月 23 日

SAAJ NEWS RELEASE

「SASB スタンダード」等に対する修正案について意見書を提出

公益社団法人日本証券アナリスト協会（会長：鳥海 智絵）のサステナビリティ報告研究会（座長：井口 譲二 株式会社ニッセイアセットマネジメント 執行役員 チーフ・コーポレートガバナンス・オフィサー）は、国際サステナビリティ基準審議会（ISSB）が 2026 年 3 月 26 日に公表した公開草案『SASB スタンダード』及び『IFRS S2 号産業別ガイダンス』に対する修正案』について、2026 年 7 月 23 日に意見書を提出しました。

本公開草案は、ISSB が 2025 年 7 月に公表した 9 産業を対象とする「SASB スタンダード」の修正案に関する公開草案（以下、2025 年 7 月公開草案）に続き、「農産物」、「食肉、家禽及び乳製品」及び「電気事業者及び発電事業者」の 3 産業を対象とする修正案を示したものです。

本意見書は、現役のセクター・アナリストへの意見聴取を踏まえ、サステナビリティ報告研究会の委員による検討を経て取りまとめたものです。

【意見書のポイント】

- ISSB による自然資本及び人的資本に関する基準開発にはなお時間を要すると見込まれることから、「SASB スタンダード」の重要性は一層高まっていると考える。また、2 回の修正案により対象となった 12 産業における適用可能性及び有用性は著しく向上していると認識している。したがって、残りすべての産業についても、優先順位を明確化したうえで段階的に同様の修正を進めるべきである。
- 我々は 2025 年 7 月公開草案への回答で、機会に関する開示トピック及び指標の充実を要望した。本公開草案では、それが実現されている点を評価する。
- 「電気事業者及び発電事業者」において、人的資本に関連する「従業員の採用、育成及び維持」の開示トピック及び指標が追加された点を評価する。当該開示トピック及び指標は、サステナビリティ関連のリスク及び機会を管理する企業の戦略の遂行を利用者が理解するうえで不可欠であることから、他の産業にも追加されることを要望する。

【添付資料 1】 *Comments on Exposure Draft Proposed amendments to the SASB Standards and IFRS S2 Industry-based Guidance*

【添付資料 2】 公開草案『SASB スタンダード』及び『IFRS S2 号産業別ガイダンス』に対する修正案』について

本件に関するお問い合わせは下記まで



公益社団法人
日本証券アナリスト協会

電話：03-3666-1200

担当：企業会計第 2 部長 土谷 敬